

東京都 COVID-19 感染症透析医療入院病床アンケート(4月10日時点 ダイジェスト版)

3月末から4月はじめに、都区部と三多摩地区で行われた、主に入院施設を対象とした、COVID-19 感染透析患者の入院病床受け入れ体制に関するアンケート結果です。

受け入れ可能病床数はアンケート実施時点での見込みであり、実際にはすでに透析の有無にかかわらず病床が使用されている場合等もあり、変動しています。

また、東京都区部災害時透析医療ネットワークでは、外来クリニックの皆様にもアンケートに回答を頂きました。アンケートにお答え頂いた全ての方々に感謝申し上げます。

なお、陽性透析患者の受け入れ可否についての個々の施設名は出しておりません。状況は時々刻々変化しますゆえ、施設名開示予定はないことを付記させていただきます。

# 東京都COVID19感染症透析医療入院病床アンケート（4月10日時点）

東京都区部災害時透析医療ネットワーク	代表	酒井 謙 菊地 勘
三多摩腎疾患治療医会	理事長	要 伸也
東京都透析医会	災害対策委員長 会長	尾田高志 安藤亮一
	災害対策委員長	花房規男

①現時点COVID-19入院受け入れ可能は、**89**施設中 **28**施設（**31.5%**）  
稼働可能病床：のべ**26**床

②東京都からの要請があれば、現時点で受け入れ不可能施設の**33%**の**19**施設が入院受け入れ可能と表明  
稼働可能病床：のべ**32**床（中等～重症）

\* ① + ② = **57**床が、最終的に東京都の潜在的な入院可能病床数と推測される。

③区部外来受け入れ可能は、**82**施設中 **32**施設（**37%**）  
稼働可能透析ベッド：のべ**33**床（1施設1床の割合）

\* 自施設・関連施設の患者発生は自施設で対応可能、外部からの受け入れが可能は、入院施設で**15%**、外来施設で**1%**にとどまる。